

⚠ 警告 安全のために

SONY®

警告表示の意味

「取り付けと接続」および取扱説明書、製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

- ⚠ 警告 この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。
- ⚠ 注意 この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり自動車に損害を与えることがあります。



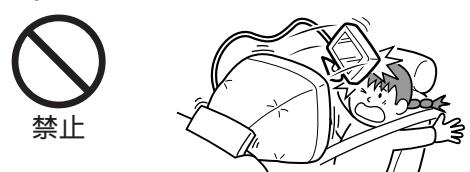
下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

本機はDC12Vマイナスアース車専用です
大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車など、24V車で使用すると火災などの原因となります。



助手席用エアバッグシステムの動作を妨げないように取り付ける

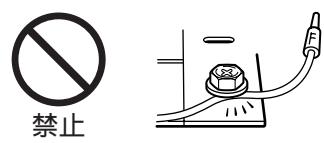
動作の妨げになる場所に取り付けると、エアバッグが正常に動かず、けがの原因となります。



運転操作や車体の可動部を妨げないように取り付ける

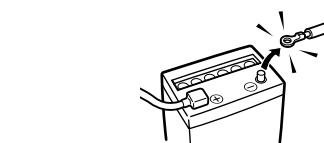
運転の妨げになる場所、車体の可動部の妨げになる場所に取り付けや配線をすると、事故や感電、火災の原因となります。

- ネジやシートレールなどの可動部にコード類をはさみ込まない。
- コード類はまとめる。
- ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどが正しく操作できることを確認する。



配線作業中は、バッテリーのマイナス端子をはずす

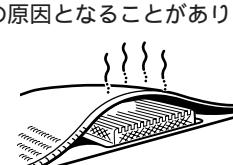
マイナス端子をつないだまま作業をすると、ショートにより感電の原因となります。



下記の注意を守らないと**けが**をしたり**自動車に損害**を与えることがあります。

付属の部品で正しく取り付ける

他の部品を使うと、機器の内部を傷つける、しっかり固定できないなどで、火災やけがの原因となることがあります。

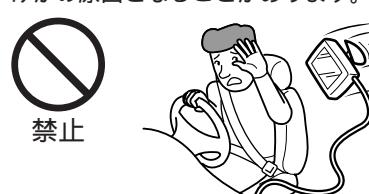


本機の通風口や放熱板をふさがない

通気口や放熱板などをふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

安定した場所に取り付ける

振動の多いところや、天井などに取り付けると、製品が動く、落ちるなどにより、事故やけがの原因となることがあります。



FM/AM コンパクトディスク プレーヤー

取り付けと接続

お買上げいただきありがとうございます。

- ⚠ 警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。この「取り付けと接続」および別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

取り付けはお買上げ店に依頼する
本機の取り付けは車種や年式により異なり、専門知識が必要です。万一、ご自分で取り付けるときは、この「取り付けと接続」に従って、正しく取り付けてください。正しい取り付けをしないと、火災や感電または自動車の損傷の原因となります。

COMPACT
DISC
DIGITAL AUDIO

CDX-C4100

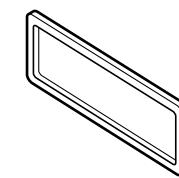
Sony Corporation © 1997 Printed in Japan

取り付け/接続部品(付属)

①



②



日産車用プレート
×1

③



電源コード
×1

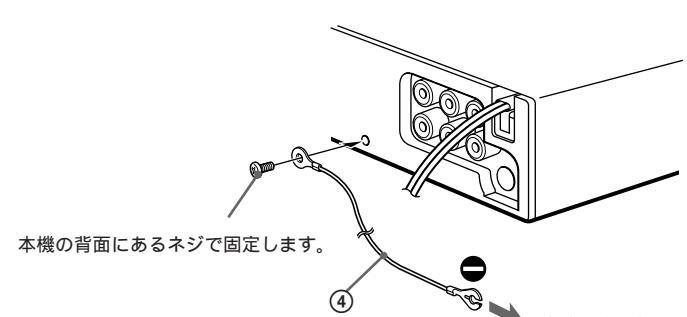
④



アースコード
×1

オルタネーターノイズが発生する場合

オルタネーターノイズ(エンジン回転を上げた時のヒューンという音)が発生する場合には、付属のアースコードを本機背面のネジで固定し、本機のシャーシを車体の金属部分にアースしてください。



取り付け

取り付け場所

こんな取り付け場所はお避けください。

- 運転の妨げになる所
- 同乗者の安全を損なう所
- グローブボックスのふたの開閉や、灰皿の出し入れの妨げになる所

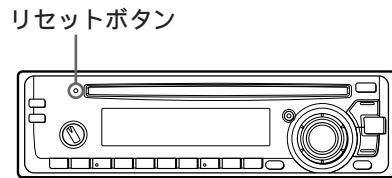
- ほこりの多い所
- 磁気を帯びた所
- 直射日光やヒーターの熱風などが当たる所
- 雨が吹き込んだり、水がかかる所、湿気の多い所

取り付け角度

水平から20度以内で取り付けてください。

取り付けと接続が終わったら

- ブレーキランプやライト、ホーン、ウインカー、ワイパーなど、すべての電装品が正しく動くことをお確かめください。
- 必ず、リセットボタンをボールペンの先などで押してください。
針のようなもので強く押すと故障の原因となります。

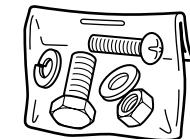
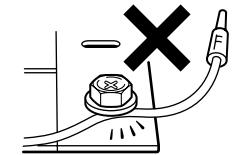


ご注意

- 本機上面にある周波数調整用の4個の穴の調整ネジにはさわらないでください。故障の原因になります。
- リセットボタンを押した後、10秒間はCDを入れないでください。10秒以内にCDを入れるとリセットされません。もし入れたときはもう一度リセットし直してください。

ビス・ナット類

- 必ず付属のビス類をお使いください。
- ビスやナットを締めるとき、他の配線を噛みこまないようにご注意ください。
- 車体のボルトやナットを使って共締めやアースをするとき、ハンドルやブレーキ系統のものは絶対に使わないでください。
- はずしたビス類は、小箱や袋に入れて紛失しないようにしてください。
- はずすビスの種類が多いときは、混同しないようにしてください。



センターコンソールやインダッシュに取り付ける場合

1 純正カーオーディオを取りはずします。

センターコンソールやインダッシュから純正オーディオを取りはずし、カーオーディオを取り付けていた純正ブラケットを利用して、本機を取り付けます。

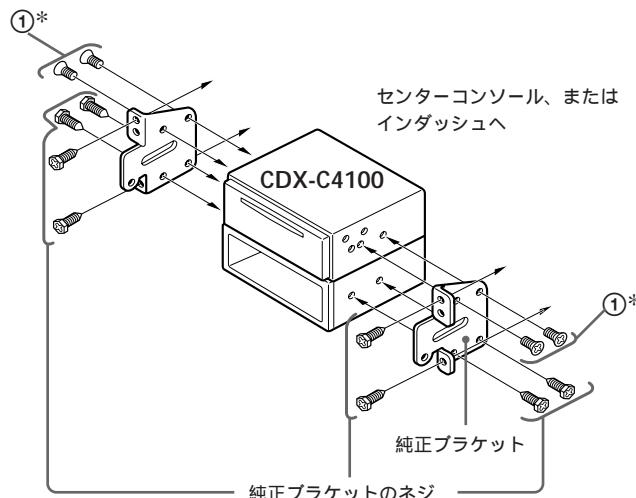
2 本機を取り付けます。

接続例を参照して、センターコンソールやインダッシュに取り付けてください。

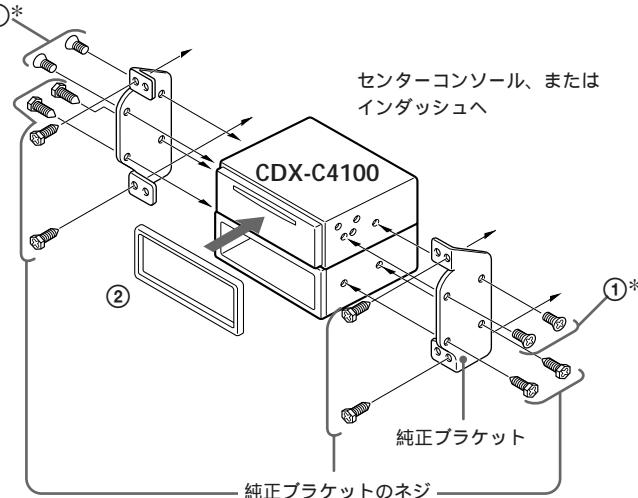
ご注意

- 本機のフロントパネルの表示窓を押したり、ボタンに強い力を加えたりしないでください。
- 本機の上部に物をはさみ込まないでください。

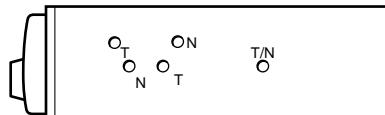
トヨタ車/三菱車の場合（イラストはトヨタ車の場合）



日産車の場合



* 付属の皿ネジ①で取り付けてください。他のネジを使用すると故障の原因になります。



接続 必ず接続先の機器に付属の取扱説明書もあわせてご覧ください。

ショート事故を防ぐために

本機の電源コードの接続は、必ずイグニッションキーをOFFにして、すべての配線をすませてから行ってください。先に電源コードを接続すると、ショートにより感電や製品の故障の原因となります。万一、先に電源コードを接続して配線しなければならないときは、はじめにバッテリーのマイナス端子をはずしてください。
ただし、ドライブコンピューターやナビゲーションコンピューターが取り付けてある車では、バッテリーのマイナス端子をはずすとメモリー内容がすべて消えてしまうことがあります。

アンテナブースターの接続

車種(一部のバーインテナ車種を含む)によっては、アンテナブースターに電源を供給する必要があります。この場合は青色の電源コードをアンテナブースターにつなぐか、アクセサリー電源から電源を取るようにしてください。くわしくは、お買い上げ店にご相談ください。

パワーアンテナをお使いになる場合

本機裏面から出ている青色の電源コードをパワーアンテナ(リレーボックス付き)に接続してお使いになると、ラジオの電源を入れたときにパワーアンテナが自動的に出ます。

大出力パワーアンプをお使いになる場合

より良い音で楽しんでいただくために、以下の調整をしてください。

ソニーのパワーアンプをお使いのとき

LEVEL(またはGAIN)の調整つまみをMIN側にしてください。

他社のパワーアンプをお使いのとき

マスターユニットのボリュームを、真ん中より少し上ぐらにした時に適度な音量になるように、パワーアンプのLEVEL(またはGAIN)を下げてお使いください。

初期設定が必要なスイッチ

イグニッションキーにアクセサリーポジションのない車でお使いになる場合

パワーセレクトスイッチ

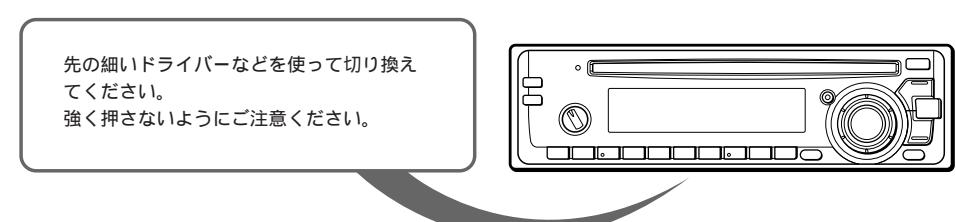
必ず本機底面にあるパワーセレクトスイッチを①の位置に合わせてください。この場合、赤色の電源コードは黄色コードと同じところ(バッテリー電源)へ接続してください。パワーセレクトスイッチが②の位置のままお使いになると電源が切れずバッテリーが消耗します。

別売りのイコライザーを接続する場合

音声出力/入力切り換えスイッチ

必ず本機底面にある音声出力/入力切り換えスイッチのラベルをはがし、スイッチを②の位置に合わせてください。音声出力/入力端子は音声入力端子として機能します。

- 音声出力/音声入力端子にパワーアンプなどを接続して、音声出力端子としてお使いになる場合はスイッチを「①」の位置に合わせてください。
- 音声出力/音声入力端子にグラフィックイコライザーなどを接続して、音声入力端子としてお使いになる場合はスイッチを「②」の位置に合わせてください。この場合、フロント音声出力端子、リア音声出力端子はそれぞれ、フロントおよびリア入力端子として機能します。

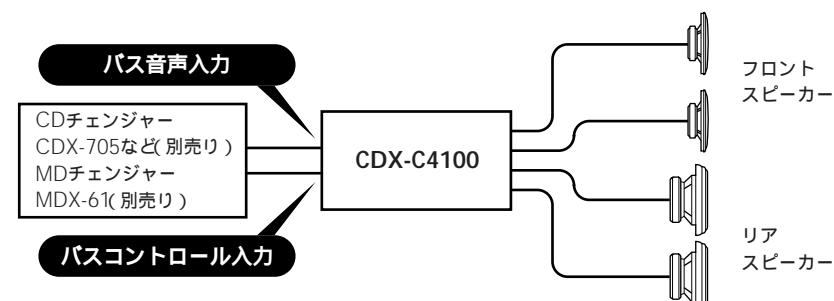


スイッチの位置を変えたときは、電源の接続をしたあとに必ずリセットボタンを押してください。

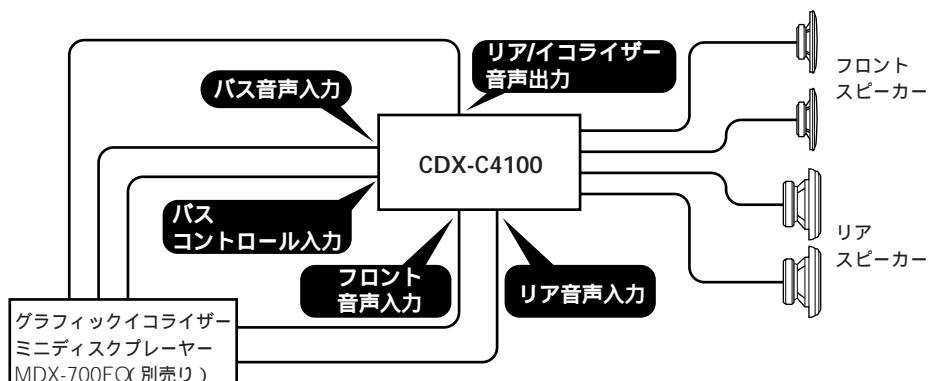
システム接続例

2台以上のチェンジャーを接続する場合、別売りのソースセレクターXA-C30と別売りのバスケーブル(RCAピンコード付き)RC-61(1m)またはRC-62(2m)が必要です。

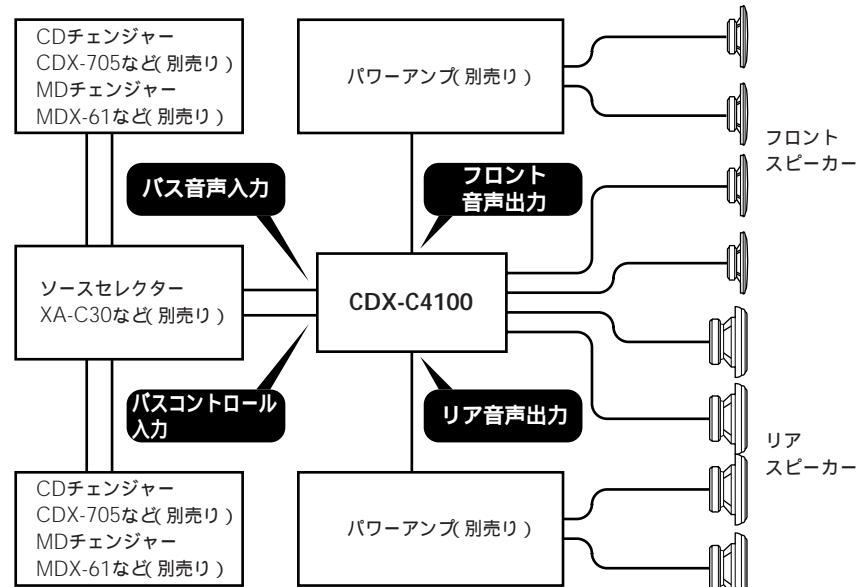
接続例1 音声出力/入力切り換えスイッチを①の位置にして下さい。



接続例2 音声出力/入力切り換えスイッチを②の位置にして下さい。



接続例3 音声出力/入力切り換えスイッチを①の位置にして下さい。



電源コードの色分け

赤色コード

アクセサリー(ACC)電源入力コード

車のキーをLOCKかOFFにすると電源供給が切れて、ACCにすると電源が入るところ(ラジオ回路など)に接続します。

黄色コード

動作用電源入力コード

車のキーに関係なく、常時通電しているところでヒューズの容量値以上の電源が取れるところに接続します。本機のOFFボタンを押すか、イグニッションキーをOFFにすると、メモリー保持用の電流だけが流れます。

黒色コード

アース用コード

車体の金属部分に確実にアースしてください。

青色コード

パワーアンテナのコントロール用

ラジオのスイッチを入れたときに、このコードから12ボルトのコントロール用電源を供給します。くわしくはお手持ちのパワーアンテナの説明書をご覧ください。

・純正アンテナブースターアンプの電源供給用

ご注意

リレーボックスの付いていないパワーアンテナは使用できません。

青 / 白線コード

パワーアンプのコントロール用

橙 / 白線コード

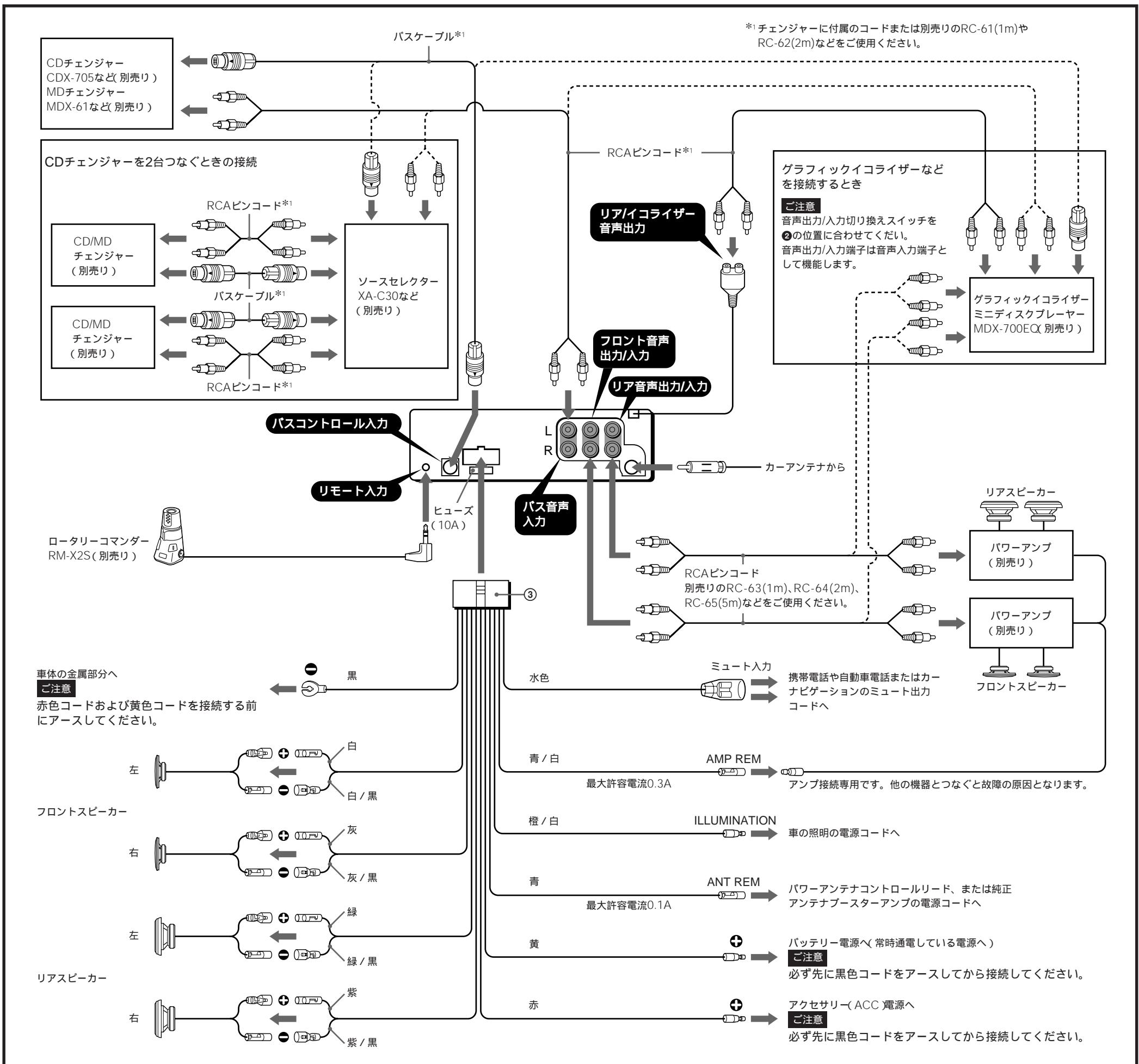
イルミネーション電源入力コード

ライトスイッチをONにしたときに、電源が入るところに接続します。

水色コード

ミュート用入力コード

携帯電話や自動車電話、カーナビゲーションシステムのミュート出力コードに接続します。



ヒューズ

- 本体の後面にあるヒューズが切れたときは、配線などをチェックして必ず原因を確かめ、適切な処置をしてください。その後、ヒューズに記してある規定容量(アンペア数)のヒューズと交換してください。規定容量以上のヒューズや針金で代用することは大変危険です。
- 電源の黄色コードを接続するときは、本機のヒューズ容量が車両側(純正ラジオ用バックアップ電源)のヒューズ容量以下であることを確認してください。また、アンプなどを接続したシステムで使用する場合は、総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし車両側の容量が小さい場合はバッテリーから直接電源を引いてください。このことを確認しないと異常が生じた時、車両のヒューズが先に切れ他の機器が機能しなくなります。

スピーカー

- スピーカーを接続する前に、必ず本機の電源をOFFにしてください。
- インピーダンス4~8Ωのスピーカーをお使いください。
- 十分な許容入力を持つスピーカーをお使いください。許容入力の小さいスピーカーを使って音量を上げるとスピーカーを破損することがあります。
- スピーカーの+、-端子を車のシャーシなどに接続しないでください。故障の原因になることがあります。
- 本機のスピーカーコードどうしを接続しないでください。特に+端子どうし、-端子どうしを接続すると故障の原因になります。
- 既設の純正スピーカーコードを使う場合、左右のスピーカーコードの-側が共通になっているものは使用できません。そのまま使うと故障の原因になります。
- 本機のスピーカー出力にアクティブスピーカー(アンプ内蔵スピーカー)を接続すると本機を破損するおそれがあります。アクティブスピーカーを使用の際には接続にご注意ください。